

来賓として挨拶・宗教・思想分科会に参加

# 「ビルマからの訴え」

在日ビルマ政治難民 ココラットさん

軍事政権下のビルマ（ミャンマー）で9月僧侶が再び立ち上がりました。9月24日には市民が呼応し、軍事政権に抗議する10万人ものデモとなり、ついに軍が発砲・弾圧・拘束をはじめ、多くの死傷者、逮捕者が出ています。

10月1日、急遽開催した広島別院での集会で、ビルマの政治難民で、現在、名古屋でSCDB（ビルマ民主化支援会）の活動を続けるココラットさんは、すでに200人以上が死亡し、1800人以上の人が拘束されているとビルマから連絡が入っています。拘束された中で1000人は僧侶ですと教えていただきました。

その後、600人近くは解放されたということですが、まだ拘束されている人たちは、厳しい環境、そして取り調べの下にあるのではと心配されます。

お釈迦さまの教えは「殺さない、殺させない」という教えであり、その実践であることは言うまでもありません。

そして9月18日には、日本の仏教徒に対して、ビルマから連帯の行動を求めるメッセージが送られて来ています。

私たちは今まで、何を知らなかったのか、何をすべきなのか、仏教徒であり出家もしたことのあるココラットさんの話にまず耳をかたむけたいと思います。

## 【集会】

- \* とき **10月13日(土)** 全体集会 10:00 -  
分科会 13:00 - 16:00
- \* ところ 福山市佐波町 人権交流センター  
(旧佐波解放会館) ☎084-951-5700)
- \* 内容 ビルマからの訴え
- \* 講師 **ココラットさん(37才)**  
1988年から民主化運動に加わる。元全ビルマ高校学生連盟の書記長。90年の総選挙の日、反政府活動を理由に逮捕された。釈放後も監視下に置かれたため、91年タイ経由で日本へ逃れ、ビルマの民主化運動を続ける。2001年に政治難民に認定。現在、SCDB（ビルマ民主化支援会）として各地で講演や民主化運動をしている。現在、名古屋市在住。

なお、宗教・思想分科会の中で提起をしていただき、皆さんからの質疑で深めていただくと願っています。

ビルマの僧侶に連帯する仏教徒の会  
事務局 小武 正教